

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1249号	氏名	田口潤
論文審査担当者		主査教授	上平憲
		副査教授	近藤宇史
		副査教授	山下俊一
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価			
急性骨髄性白血病に発現するミエロペルオキシダーゼ(MPO)の生物学的特性をMPO遺伝子発現・蛋白発現・機能発現と階層的に解析し、白血病予後との関係を分子生物学的理解を通して明らかにしようとするもので、目的は十分に妥当である。			
2. 研究手法に関する評価			
多様な細胞集団の中からからAC133で白血病性幹細胞に純化した細胞について、分子生物学的・細胞組織化学的手法にてmRNA、蛋白、機能を定量的に調べ、得られた結果と白血病の予後との関連性も統計学的に適正に処理され、研究手法も妥当である。			
3. 解析・考察の評価			
従来、MPOは単なる骨髄系細胞の分化の指標とされていたが、純化した白血病細胞のMPOmRNA・蛋白・機能を階層的に解析することで、その遺伝子発現量と予後との間に正の相関があることを明らかにし、MPOmRNA量は分化と独立したものであると適切に考察されている。			
以上のように、本論文は造血器腫瘍の病態理解や治療を中心に臨床腫瘍医学に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			